

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟を退院した患者の栄養障害に関連する要因の検証
所属部署	長崎リハビリテーション病院 栄養管理室/臨床部/居宅療養管理指導事業所
研究責任者(職名)	西岡絵美 (管理栄養士)
研究期間	承認日～2026年3月31日
研究目的と意義	<p>地域で暮らす高齢の方々は、低栄養に陥る危険性が高いとされています。低栄養状態が続くと、日常生活の動作がしづらくなったり、生活の質が下がったり、健康状態が悪くなることが知られています。</p> <p>そこで今回の研究では、退院後に栄養面でどんな問題が起こりやすいかを調べることにしました。これにより、入院中の段階から退院後の栄養に関する課題を予測し、早めに対策を考えられるようにすることを目指しています。</p> <p>2024年1月1日時点に入院中でかつ対象となられる患者様には、退院時に既に同意を頂いておりました。ただし、この度調査内容に握力を追加しましたので、改めて情報公開するとともに、研究協力に同意されない場合にはご連絡頂けましたら幸いです。</p>
研究内容	●対象となる方
	2024年1月1日～2024年12月までに当院5階病棟を退院した患者様
	●利用する情報
	<p>&lt;入院情報&gt;年齢、性別、原疾患、併存疾患、発症日、入院日、退院日、発症から回復期リハ病棟入院までの日数、在院日数、入退院時のFunctional Independence Measure (FIM)、低栄養の有無 (GLIM基準)、摂取栄養量、Body Mass Index (BMI)、下腿周囲長 (Calf Circumference: CC)、Food Intake LEVEL Scale (FILS)、Mini-Mental State Examination (MMSE)、Brunnstrom Stage、握力等</p> <p>&lt;退院後情報&gt;退院後の居住場所、同居者の有無、利用介護保険サービス、体重、下腿周囲長、低栄養の有無 (GLIM基準)、退院後入院歴の有無、<b>握力</b>など</p>
問い合わせ先	●研究方法
	上記の内容を、電子カルテからと退院後訪問調査で情報収集し、以下①～③について検証します。なお、退院後情報は同意が得られた患者様に対し、退院後6か月目に居住場所に訪問して情報収集します。
	①退院後の体重変化 (BMI)
	②退院後の下腿周囲長CC (筋量) の減少
	③退院後低栄養 (GLIM基準)
	所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部 (PACS) 高橋
	住所：長崎市銀屋町4-11
	電話：095 (818) 2002
	受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)